

マンモグラフィ検査とは？

当院のマンモグラフィ（乳房エックス線撮影）装置は、患者様の不安や痛みをできる限り軽減し、安心して検査を受けていただけるよう様々な配慮がなされた機器を導入しています。

体への負担と痛みを軽減する工夫

ラウンドフォルムブッキー（撮影台）：圧迫版や撮影台の角に丸みを持たせることで、皮膚への当たりを和らげ、痛みを抑えます。

ソフトハンドレスト：手を添える部分に優しい素材を採用しており、リラックスした状態で体を装置に預けることができます。

車椅子や立位が難しい方へ

当院では、車椅子に乗ったままの方や、体調により立っていることが難しい方でも、座位（座った状態）のまま安全に撮影ができる専用の椅子を導入しております。「立ってられるか不安」という方でも、どうぞ安心して、お気軽に当院へご相談ください。



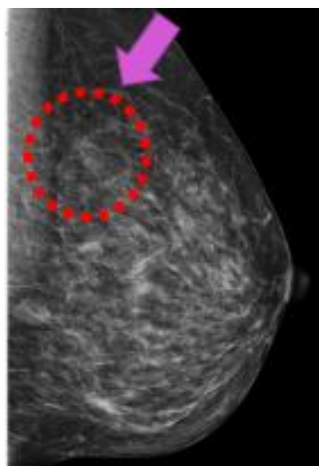
吸引式乳房組織生検対応椅子
mammo pew

精密で質の高い検査・診断への取り組み

□ 3D画像（トモシンセシス）

3D画像（トモシンセシス）は、角度を変えながら連続して撮影を行います。これにより得られた薄いスライス画像（断層画像）を用いることで、従来の画像では乳腺の重なりで隠れていた病変の有無を、くまなく検索することが可能になります。

従来の2D画像では乳腺に埋もれて発見が困難だった病変部も、3Dの断層画像であれば病変の辺縁部（周囲の組織との境界や形）まで鮮明に映し出し、より正確な診断が可能になります。



2Dの画像



3Dの任意の位置での静止画像

3D画像では病変が
明瞭に判断できる

特に、乳腺が発達しており従来の撮影では白く写りやすい、若い女性に多い「高濃度乳房（デンスブレスト）」において非常に有効な撮影方法です。

□ マンモグラフィ下生検

マンモグラフィの検査で異常（微細な石灰化など）が見つかり、さらに詳しい精密検査が必要となった場合、当院では機器をそのまま使用して「マンモグラフィ下生検」を行うことが可能です。

検査を受ける際の禁忌例

安全に検査を施行するため、以下に該当する方は必ず事前にお申し出ください。

- 妊娠中の方、またはその可能性がある方
- 授乳中の方、または断乳後 1 年未満の方
- 豊胸手術を受けられた方
- 胸周辺に埋込み型の医療器具を装着されている方
(ペースメーカー、ICD：埋込み型除細動器、V-P シャントチューブ、CV ポートなど)
- 心臓周辺にステントを挿入中の方
(※心臓周辺以外に挿入されている場合はお問い合わせください)
- 持続血統測定器 (フリースタイルリブレなど) やインスリンポンプを装着されている方
- 肋骨骨折、または肋骨にヒビが入っている方
- 乳がんの手術歴がある方 (術後 10 年未満の方)
(※事前に主治医へご相談いただくことをお勧めいたします)

※上記に該当する場合の対応は、医療機関によって異なることがあります。詳細や不明な点は、事前にお電話等でお問い合わせください。

検査時の注意事項

正確な検査を行うため、受診当日は以下の点にご協力をお願いいたします。

- 貴金属類について
メガネ、イヤリング、ネックレスなどの装飾品は、検査時に外していただく場合がございます。
- 髪型について
髪の長い方は、撮影の妨げにならないよう、ゴムなどでまとめていただくようお願いする場合がございます。
- 制汗剤・化粧品について
制汗スプレー、パウダー、ラメ入りのボディクリーム等を使用されている場合は、検査前にお申し出ください。
※これらの成分が、画像上で病変と似た影として写りこんでしまうことがあります。必要に応じて、検査前にウェットティッシュ等でふき取っていただく場合がございます。

マンモグラフィ診断装置の紹介

高精細読影モニタ（5M or 15Msp）（BARCO 社製）を導入しています。微細な形状の描出に優れています。画像管理、読影、レポート作成まで、マンモグラフィの読影業務をこちらの機器で行っています。微細な形状の描出に優れています。



マンモグラフィ専用 画像診断ワークステーション mammary

マンモグラフィ下組織生検機器の紹介



マンモグラフィガイド下マンモトーム
専用の生検ユニット Pristina Serina



マンモグラフィガイド下マンモトーム 組織生検用機器
EnCor ENSPIRE



吸引式乳房組織生検対応診察台 EX-MGT（タカベルmont株式会社製）
（仰臥位・側臥位でも患者様の姿勢保持をサポート）